



お膳レシピのご紹介

「スパニッシュオムレツ」
一緒に紫陽花を見に行こう弁当より

作りやすい分量(4人分)

- 卵……………3個
- じゃが芋……………1個
- グリーンピース…15g
- ベーコンスライス 2〜3枚
- サラダ油……………小さじ1
- 塩・こしょう…少々

作り方

- 1 じゃが芋と、ベーコンを1cm角に切る。2 卵はよく溶きほぐす。
- 3 小さなフライパンに油を熱し、じゃが芋を中火でよく炒める。ほとんど火が通ったら、グリーンピース、ベーコンも加えて炒め、塩、こしょうで調味する。
- 4 溶き卵を加えて、ざっくりと混ぜながら半熟状に火を通し、蓋をしてごく弱火で火を通す。
- 5 火が通ったら切り分けて皿に盛りつける。お好みでケチャップをかけてください。



MENU

一緒に紫陽花を見に行こう弁当

- ごはん●煮込みハンバーグ●スパニッシュオムレツ●ズッキーニのプロバンス風
- アスパラのタルタルソースがけ●あじさいゼリー●ジョア

スパニッシュオムレツ(1人分)

エネルギー / 117kcal、たんぱく質 / 6.3g、脂質 / 8.6g、食塩 / 0.4g

診療のご案内

診療日 月曜日から金曜日
(土・日曜日、祝日は休診となります)
初診・再診とも**完全予約制**です(緊急時を除く)

診療受付時間

午前 8:30 ~ 11:30
午後 1:30 ~ 3:00
(月曜日は午後2:00 ~ 3:00)

*初診は午前8:30 ~ 10:30

専門外来 「こども・思春期外来」

完全
予約制

中学生までのお子さんを対象に、毎週水曜日午前及び第2・第4水曜日午後を実施しております。

事前の申し込みが必要となります。
医療福祉科までお問合せください。

【お問合せ先】
医療福祉科 / 64-8100(代表)

山形県立こころの医療センター

〒997-0019 山形県鶴岡市茅原字草見鶴 51-1

TEL : 0235-64-8100(代表)
FAX : 0235-24-1283

交通のご案内

- タクシーご利用の場合：JR 鶴岡駅よりおよそ 5 分
- バスご利用の場合：JR 鶴岡駅前より「こころの医療センター行き」バスでおよそ 10 分
- お車ご利用の場合：山形自動車道「鶴岡 IC」よりおよそ 10 分

山形県立こころの医療センター

さらに詳しい病院情報は
ホームページをご覧ください。

山形県立こころの医療センター

COCORO だより

1

平成 27 年 9 月号

新病院の開院は 地域医療の一筋の光

山形県立こころの医療センター
かんだ ひでと

院長 神田秀人

多くの方々のご協力により新病院が開院しました。新病院は、精神障害が国の五疾病の一つとして数えられ、脳科学が急速の進歩を見せる現代にあつて、県レベルの住民の方々の期待に応えられるように、その機能を充実し強化して行かなくてはならないと考えております。また、新病院は、人口減少時代の最先端を行くと目される地域にあつて、その存在意義を発揮しなければならぬとの思いを強くしております。鍵となるのは、精神科救急、児童思春期、医療観察、訪問看護など時代の先を見越した精神科医療をきちんと機能させて行くことであり、そういった先進的なことが十分機能するためには、慢性期・社会復帰病棟がその後方支援機能を発揮できるようしていかなければなりません。私たちこころの医療センターが、地域医療の一筋の光となることを目指してまいります。今後ともどうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。

<http://cocorohosp-yamagata.jp/>





YAMAGATA PREFECTURAL *Mental Care Center Open.*

山形県立こころの医療センターが 平成 27 年 3 月に開院しました。

新しくなった「こころの医療センター」を紹介します

外 来

外来では統合失調症をはじめとした様々な精神疾患を持つ患者さんの診察に応じています。新患患者診察室には太陽光に近くやさしい光の有機 EL を導入し、初めて受診する患者さんの不安感などを和らげる環境になっています。また、こども・思春期の専門外来も行っており、義務教育終了年齢までを対象としています。ここは一般外来と完全に分離させ、専用の入口・受付・待合・診察室・会計を設置しています。待合の壁には絵本作家の荒井良二先生の絵が

掲げられ、患者さん・ご家族の気持ちを和ませる雰囲気となっています。小さなお子様でもプレイルームを使用し、待ち時間も安心して過ごせます。

訪問看護

私たちは主治医から訪問看護の依頼があった方へ、看護師と精神保健福祉士、または作業療法士がご自宅やグループホームなどに訪問しています。安定した医療の継続と再入院防止の働きかけを行うとともに、訪問看護利用の方、ご家族の相談に応じ地域で安定した生活が送れるようお手伝いしていきます。

病 棟

○西 1 病棟(子どもユニット)

児童思春期外来に通院中の、入院治療が必要と診断された小・中学

生を対象としたユニットです。対象となる主な疾患・障害は、統合失調症、うつ病などの精神病、強迫性障害、身体表現性障害等の神経症、発達障害の二次的障害です。精神療法、薬物療法を中心に多職種による治療プログラムをそれぞれのお子さんに合わせ提供していきます。また、入院中の学習支援として、鶴岡養護学校の分教室となる「おひさま分教室」が併設されています。

○西 1 病棟(ストレスケア)

主にうつ病やうつ状態・神経症性障害などのストレス関連疾患の患者さんが入院するユニット(病棟)になります。ユニットの大きな特徴として、ゆったりした4床室のほか2タイプの有料個室(特別室・一般室)を備えており、心身ともにリラックスできる穏やかな療養

環境を提供し、症状の改善と早期退院を目指していきます。

○東 2 病棟(スーパー救急)

東 2 病棟は精神症状が悪化し集中的に治療の必要な方が入院される病棟です。医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士・作業療法士・管理栄養士など専門のスタッフが一人ひとりの患者さんの症状やニーズに応じたチーム医療を提供し、3ヶ月以内の退院を目指します。退院後の社会復帰をスムーズに行うために、地域連携カンファレンスや、心理教育・各種作業療法・家族教室などを実施しています。

○西 2 病棟(社会復帰)

西 2 病棟は、スムーズに社会生活へ移行できるよう社会復帰の促進を目標にしています。患者さん、ご家族、市町村の福祉担当等、多職種にわたり関係機関と話し合いを行い作業療法や退院準備プログラムを導入しながら、自立した生活が送れるよう支援しています。



リクルートサイトにて
スタッフブログ日々更新中！
コードを読み込んでスマホで簡単アクセス！



山形県立こころの医療センター

fb.com/cocoromc @cocoro_mc



○東 3 病棟(慢性期)

東 3 病棟は、精神科慢性期の閉鎖病棟です。入退院を繰り返したり、長期入院(3ヶ月以上)している方に寄り添いながら患者さん自身が病気と向き合い、より良い形で社会に復帰できるよう、多職種と連携しながら退院支援をしています。また、高齢の方や身体合併症の患者さんも多いため、患者さんのケアを充実させる為の設備(特殊浴槽)なども備えております。

○西 3 病棟(医療観察)

医療観察法(心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律)に基づいた指定入院医療病棟です。5職種で構成される多職種チーム(MDT)で治療にあたります。薬物療法を主とし、犯した罪に対する内省・洞察の深化、対人・日常生活に必要なスキル獲得など、様々な治療プログラムを対象者中心で実施していきます。

Web Site Information

診療案内、医師予定表、採用情報は
ホームページでご覧いただけます。

山形県立こころの医療センターでは診療案内や医師予定表といった病院情報はもちろん、職員採用情報を各専用のホームページで公開しております。また、センターからのお知らせや最新情報も随時配信しております。ぜひご利用ください。

最新情報
を配信
しています

